うたごえ運動75周年
2023日本のうたごえ祭典 in 北海道
いのち輝く大地から
平和な未来を
あした

NEWS NO.8 2023.5.8

〒003-0801 札幌市白石区菊水1条4丁目
TEL&FAX 011-811-9889
E-Mail douutakyo@gmail.com
HP https://hokkaidosaiten.jp

さぁいよいよ…
北海道のうたごえ合唱講習会
全道各地から118名の参加

今年は桜の便りも早く、ここ北海道でもすでに釧路に届いています。5月3・4日新緑の芸術の森アートホールで2023北海道のうたごえ合唱講習会が開催されました。札幌・釧路・旭川・帯広・岩見沢 ・苫小牧・室蘭・函館からはもちろん遠くは関東や関西からも参加があり、祭典に向け弾みとなる取り組みとなりました。あと3ヶ月半、ガンバロー!!

講師は昨年に続き発声講習には川島沙耶さんを迎え、合唱の講師には大阪から守屋博之さんを迎え、「芦別の雪の中を」「平和の子守唄」のあつーい講習を堪能しました。

2日目の朝は野外フェス会場で体操と発声。そして野外フェスエンディングの曲「あなたと一緒に」「かがり火のうた」「北方のうた」をうたってみましたよ。なかなかいい響きで成功の予感が…。

出演登録を急ごう！第1次締切は5/末

交通手段とホテルを確保したら、何をうたうか決めて出演登録を行いましょう。北海道観光だけじゃもったいない。やっぱりうたって参加が基本です。「まずは合唱発表会出場が決まってから」なんて考えている合唱団のみなさん、合同曲の練習を開始しましょうね。登録を待ってマ～ス！

都道府県別出演登録応募状況

2023/4/30 23:14 現在

ステージ	野外フェスティバル「大地のうた」8/25								特別音楽会Ⅰ「平和に向かって！」8/26		特別音楽会Ⅱ「スタートライン」8/26									
	第1部	第2部							第2部		第1部			第2部						
	オープニング	原発ゼロをめざして		国鉄のうたごえ・全国働くもの合同			フィナーレ			全国女性合同	全国シルバー合同		全国保育・教育・青年合同		ナターシャとともに	うたごえ創立75周年記念 6人の音楽家によるオムニバス作品集					フィナーレ
曲目	大地のうた	誰しもふるさとを汚したのは	空を海をいのちを	人間の歌	レールの音が聞こえます	人生きるらしく	北方のうた	かがり火のうた	あなたと一緒に	ボーイ・ダニー	子供達しかむ	仲間のうたなかいけが人生えを	今この時代に	行も進曲一人	鳥キエフの歌	「指揮者にさよならSHIZUGAWA Minami Sanriku」	スタートライン	一本の木	Peace be with you	すこしずつ	昨日よりも優しくなりたい	アメイジング・グレイス
演奏形態 人数	混声 200	混声 200		混声 300			混声 400			女声 400	混声 300		混声 200		混声 200	混声 200	混声 200	混声 200	混声 400	混声 400	混声 400	混声 500
北海道	21	9		10			19			45	29		1		20	16	7	6	14		9	16
青森県	0	0		0			0			0	0		0		0	0	0	0	0		0	0
岩手県	0	0		0			0			0	0		0		0	0	0	0	0		0	0
秋田県	0	0		0			0			0	0		0		0	0	0	0	0		0	0
山形県	0	0		0			0			0	0		0		0	0	0	0	0		0	0
宮城県	0	0		0			0			0	0		0		0	0	0	0	0		0	0
福島県	0	0		0			0			0	0		0		0	0	0	0	0		0	0
栃木県	0	0		0			0			0	0		0		0	0	0	0	0		0	0
群馬県	0	0		0			0			0	0		0		0	0	0	0	0		0	0
茨城県	0	0		0			0			0	0		0		0	0	0	0	0		0	0
埼玉県	0	0		0			0			0	0		0		0	43	0	0	0		0	0
千葉県	0	0		0			0			0	0		0		0	0	0	0	0		0	0
東京都	0	0		0			0			11	0		0		0	1	1	1	1		1	1
神奈川県	0	0		0			0			0	0		0		0	4	4	4	4		4	4
山梨県	0	0		0			0			0	0		0		0	0	0	0	0		0	0
新潟県	0	0		0			0			0	0		0		0	0	0	0	0		0	0
長野県	0	0		0			0			0	0		0		1	0	0	0	0		0	1
静岡県	0	0		0			0			6	0		0		7	1	1	3	12		6	9
愛知県	0	0		0			0			0	0		0		0	0	0	0	0		0	0
岐阜県	0	0		0			0			0	0		0		0	0	0	0	0		0	0
三重県	0	0		0			0			0	0		0		0	0	0	0	0		0	0
富山県	0	0		0			0			0	0		0		0	0	0	0	0		0	0
石川県	0	0		0			0			0	0		0		0	0	0	0	0		0	0
福井県	0	0		0			0			0	0		0		0	0	0	0	0		0	0
滋賀県	0	0		0			0			0	0		0		0	0	0	0	0		0	0
京都府	0	0		0			0			0	0		0		0	0	0	0	0		0	0
奈良県	0	0		0			0			0	0		0		0	0	0	0	0		0	0
大阪府	0	0		5			0			36	0		8		1	0	0	0	0		35	29
和歌山県	0	0		0			0			0	0		0		0	0	0	0	0		0	0
兵庫県	0	0		0			0			0	0		0		0	0	0	0	0		0	0
鳥取県	0	0		0			0			0	0		0		0	0	0	0	0		0	0
島根県	0	0		0			0			0	0		0		0	0	0	0	0		0	0
岡山県	0	0		0			0			0	0		0		0	0	0	0	0		0	0
広島県	0	0		0			0			0	0		0		0	0	0	0	0		0	0
山口県	0	0		0			0			0	0		0		0	0	0	0	0		0	0
徳島県	0	0		0			0			0	0		0		0	0	0	0	0		0	0
香川県	0	0		0			0			4	0		0		4	0	0	0	1		1	1
愛媛県	0	0		0			0			0	0		0		0	0	0	0	0		0	0
高知県	0	0		0			0			0	0		0		0	0	0	0	0		0	0
福岡県	0	0		0			0			0	0		0		0	0	0	0	0		0	0
佐賀県	0	0		0			0			0	0		0		0	0	0	0	0		0	0
大分県	0	0		0			0			0	0		0		0	0	0	0	0		0	0
宮崎県	0	0		0			0			0	0		0		0	0	0	0	0		0	0
長崎県	0	0		0			0			0	0		0		0	0	0	0	0		0	0
熊本県	0	0		0			0			0	0		0		0	0	0	0	0		0	0
鹿児島県	0	0		0			0			0	0		0		0	0	0	0	0		0	0
沖縄県	0	0		0			0			0	0		0		0	0	0	0	0		0	0
全国計	21	9		15			19			102	29		9		33	65	13	14	32		56	61

音楽会チケットは申し込みましたか？

4月中旬から続々と申し込みをいただいています。特別音楽会1・2階は指定席です。いい席から順に埋まっていきますので、申し込みはお早めに。「出演はするけど出番がないときはいい席でじっくり鑑賞したい」という方はぜひ指定席をご購入下さい。特別音楽会は通し券がお得です。500円お安くなりま～す。

野外フェスには出演者券はありません。みんなで参加してみんなで楽しむ音楽会です。ぜひ金曜の夜は芸術の森野外ステージへ。芝生席がほとんどですが、イス席（自由席）もあります。

都道府県別チケット申込状況

2023年5月7日現在

	野外フェスティバル		特別音楽会Ⅰ					特別音楽会Ⅱ				特別音楽会合計	指標	テレビ塔うたう会
	合計	指標	指定席1～2階 3000	自由席3階 2500	出演者席4階 2000	出演者（CS） 1000	合計	指定席1～2階 3000	出演者席3･4階 2000	出演者（CS） 1000	合計			1500
青森	2	10	6				6	9	3		12	18	20	6
岩手	2	10	0				0	0			0	0	20	
秋田	0	10	0				0	0			0	0	20	
山形	34	15 ❤	10				10	14	25		39	49	30 ❤	
宮城	6	35	0				0	0			0	0	70	
福島	1	10	0				0	0			0	0	15	
栃木	6	5 ❤	2				2	2			2	4	10	
群馬	1	5	0				0	0			0	0	10	
茨城	0	10	0				0	0			0	0	15	
埼玉	54	70	11	1	4	2	18	9	30	12	51	69	120	7
千葉	0	70	0				0	0			0	0	120	
東京	53	200	30		12		42	37	2		39	81	400	6
神奈川	16	70	15				15	16			16	31	120	
山梨	0	1	0				0	0			0	0	1	
新潟	1	15	0				0	0			0	0	30	
長野	5	75	1		1	1	3	2		3	5	8	120	1
静岡	10	50	18				18	19			19	37	90	10
愛知	67	150	31				31	50			50	81	280	1
岐阜	2	15	2				2	2			2	4	25	
三重	2	10	1		1		2	2			2	4	25	2
富山	0	5	0				0	0			0	0	5	
石川	41	25 ❤	31		9		40	30	5	1	36	76	40 ❤	26
福井	6	35	0				0	0			0	0	50	
滋賀	0	5	0				0	0			0	0	15	
京都	12	150	15	1		8	24	15	1	7	23	47	250	2
奈良	14	80	10			1	11	10		1	11	22	100	
大阪	97	150	76	1	35	21	133	79	7	24	110	243	300	6
和歌山	0	5	0				0	0			0	0	5	
兵庫	2	75	2				2	2			2	4	150	
鳥取	0	1	0				0	0			0	0	1	
島根	0	5	0				0	0			0	0	15	
岡山	0	10	0				0	0			0	0	10	
広島	17	50	0				0	0			0	0	80	
山口	0	5	0				0	0			0	0	5	
徳島	0	5	0				0	0			0	0	1	
香川	0	5	0				0	0			0	0	10	
愛媛	21	10 ❤	18	2			20	18			18	38	20 ❤	
高知	0	10	0				0	0			0	0	15	
福岡	0	50	0				0	0			0	0	100	
佐賀	2	10	0				0	0			0	0	30	
大分	0	10	0				0	0			0	0	20	
宮崎	1	5	0				0	0			0	0	10	
長崎	4	45	0				0	0			0	0	50	
熊本	0	5	0				0	0			0	0	10	
鹿児島	0	5	0				0	0			0	0	5	
沖縄	0	5	0				0	0			0	0	5	
北海道以外計	479	1602	279	5	62	33	379	316	73	48	437	816	2843	67
北海道	190	1510	76	2	32	23	133	82	9	13	104	237	2350	17
合計	**669**	**3112**	**355**	**7**	**94**	**56**	**512**	**398**	**82**	**61**	**541**	**1053**	**5193**	**84**
席数	5000		1600	365	251	228	2444	1600	616	228	2444	4888		200

保育のうたごえから熱いエール

この勢いを北海道に持っていきま～す!!

https://youtu.be/HyQnAlABBSk

保育のうたごえから熱いエールが届きました。5月4日に開催された全国保育のうたごえ交流会＆合唱発表会の様子です。一部を動画で紹介します。右のQRコードからどうぞ。

そんなかんたんなもんじゃぁなかった・・・

広うた協の総会で高畠祭典運営委員長が祭典の魅力とその他いろいろ語ってきました。よろしかったら右のQRコードからどうぞ。

https://youtu.be/aMzDPqnHSuE

女性合同曲 **むかし子供達は**のこと　　祭典運営委員長　高畠　賢

「むかし子供達は」について、こちらで多少論議になったことがありました。杞憂であればいいのですが、もしかしたら取り組まれる各地でこのあたりが懸念されたりすることがあるのかもしれません。

一つ目は歌詞の中に何度も出てくる「がんばれ！」という言葉（かけごえ）です。
実はこれまで何人かの方から懸念する声をいただきました。いつのころからか「がんばれ！」は時としてNGワードに分類されるようになってしまいました。心の病のことがクローズアップされて、疲れている人にこれ以上「がんばれ！」と言ってはいけないと言われるようになってきてからでしょうか。私は何でもかんでも一律に「これを言ったらダメ」などという対応をとることや、それを言うことが悪であるような雰囲気になるようなことはむしろ違和感をおぼえます。真摯に何かに取り組んでいる人に対して、心から応援する「頑張れ」はすばらしい言葉だと思います。相手の状況がわかっていないうえでの安易な声がけや、限界に達している相手へ追い打ちをかけるような叱咤を避けなければと思いますが、この言葉自体に嫌悪を感じる必要はないのではないでしょうか。相手を理解し認め、心からエールを送る言葉としての「頑張れ」や、自分の希望をかなえたり、意思を貫くために努力する「頑張る」が、言いづらくなることがないようにと思います。
そういう意味では「むかし子供達は」の中で「がんばれ！」と歌うことは問題はないと思うのです。子どもたちへの応援歌であるとともにむかし子供だった自分たちへのエールでもありますね。

二つ目はタイトルにもある「子供」という漢字の使い方です。
「子供」は教育現場などでは「子ども」という表記をすることも多いそうです。（障害者・障碍者が障がい者と表記されるようになってきたことと似ている気がします）それは「供」という漢字が、大人の付随物であるようなことやお供え物というようなことを連想されるからというような理由のようですが、じつは2013年に文科省は「子供」に統一するという見解を出しています。ただ新聞などのメディアは「子ども」という表記を使うことも多いようです。「むかし子供達は」は1970年代に作られた歌なので、当時のさだまさしさんはそんなことは全く意識されてはいなかったのではないかと想像します。
僕らが「キーウの鳥の歌」と言わず歌のタイトルとしては「キエフの鳥の歌」というように、「むかし子供達は」でいいのではないでしょうか。

合同合唱のパート音源はホームページに掲載されています
https://hokkaidosaiten.jp/category/ongen/